

このたびはリコークォーツをお買い上げいただきありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。

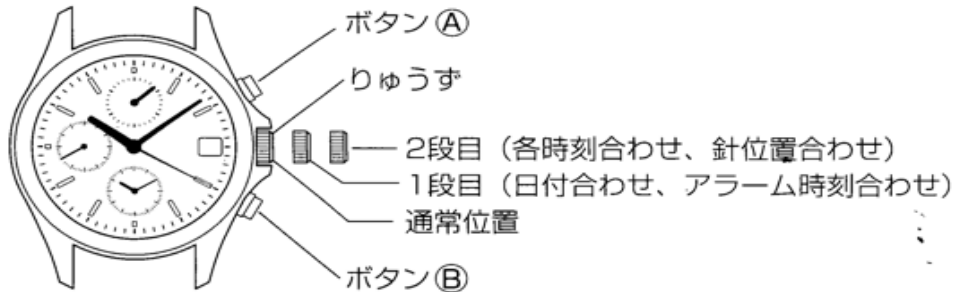
この取扱説明書に記載されている機種番号は、時計の裏ブタに刻印されている6桁の番号のうち、上3桁と同一のものです。お買い上げの時計の裏ブタをご覧ください、ご確認ください。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

特に⚠(注意) マーク、太文字の所は、よくお読みのうえ厳守してください。

■ 製品737の特徴と各部の名称

この時計は、多軸表示によるストップウォッチ機能、アラーム機能をもったアナログクォーツです。

●各部の名称とはたらき

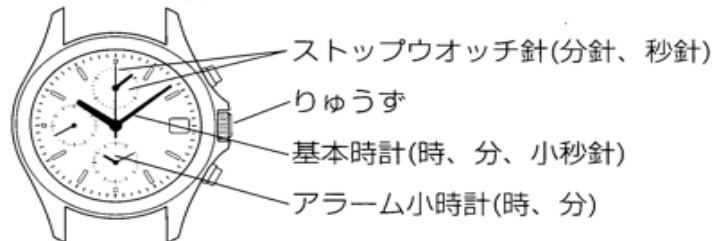


※以降の説明では、説明に不要な部分の針を省略することがあります。

■ 時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ

この時計の時刻合わせ(基本時計とアラーム小時計)とストップウォッチ針の0位置合わせは、共にりゅうず2段目で行います。そのため、時計合わせ等でりゅうずを2段目に引き出した際は、下記の3つの項目を確認または合わせ直してから、りゅうずを押し込んでください。

- ・基本時計の時刻
- ・アラーム小時計の時刻
- ・ストップウォッチ針(2本)の0位置



●時刻の合わせかた(基本時計とアラーム小時計)

- ①りゅうずを2段目まで引き出してください。小秒針が止まります。
小秒針は12時の位置に止めてください。



※ストップウォッチ計測中の場合は、ストップウォッチが強制的にリセットされます。

※アラーム小時計がアラーム時刻を示している場合(=アラームが設定されている)は、アラーム小時計が早送りして現時刻をしめします。

- ②りゅうずを回して、「基本時計」の時刻を合わせます。



このとき合わせる時刻は、今から数分後の時刻に合わせることをお勧めします。

その理由は、この後「アラーム小時計の時刻合わせ」さらに「ストップウォッチ針の0位置の合わせ」を行うためです。すべての合わせが終わってから、りゅうずを押し込むことになるので、数分先の時刻に合わせておく必要があります。

※日付けが変わるところが、午前0時です。午前午後を間違えないように合わせてください。

※この時、正確に合わせるために分針を正しい時刻より4~5分進めてから針を戻して、合わせてください。

③次にボタン⑥を押して「アラーム時計」の時刻合わせをします。



「②」で合わせた基本時計の時刻と同じ時刻に合わせます。

ボタン⑥を押し続けると、早送りします。

※アラーム時計には、午前午後の区別はありません。

※時刻合わせの際、基本時計と同じ時刻に合わせないとアラームが正しい時刻に作動しませんので、ご注意ください。

④次に、2本の「ストップウォッチ針」の0位置を合わせます。

ボタン⑤を約2秒間押し続けてください。ストップウォッチ分針が1周回ります。

ボタン⑥を押して、ストップウォッチ分針を「0分位置」に合わせてください。

ボタン⑥を押し続けると、早送りします。

次に、ボタン⑤を約2秒間押し続けると、ストップウォッチ秒針が1周回ります。

ボタン⑥を押して、ストップウォッチ秒針を「0秒位置」に合わせてください。

ボタン⑥を押し続けると、早送りします。



⑤既に合わせ終わったところを再度合わせる場合は、この順番で合わせ直すことができます。

アラーム時計の合わせ

ボタン⑤を約2秒間押し続け、アラーム時計が12時間回って修正状態であることを示します。

ボタン⑥を押して合わせます。

ストップウォッチ分針の0位置合わせ

ボタン⑤を約2秒間押し続け、ストップウォッチ分針が1周回って修正状態であることを示します。

ボタン⑥を押して合わせます。

ストップウォッチ秒針の0位置合わせ

ボタン⑤を約2秒間押し続け、ストップウォッチ秒針が1周回って修正状態であることを示します。

ボタン⑥を押して合わせます。

※何回でも合わせ直すことができます。

⑥すべての合わせができたら、時報と同時にりゅうずを押し込みます。

※基本時計の時刻とアラーム時計の時刻が同じ時刻になっているか確認してりゅうずを押し込んでください。

■ 日付の合わせかた

・時刻合わせができたら、日付を合わせてください。

・1ヶ月が31日でない＝小の月の翌月のはじめに、日付を合わせ直すときに行います。

①りゅうずを1段目まで、引き出してください。



※この状態で、ボタン⑥を押すと、アラーム時刻の設定または修正になるので、必要が無い場合はボタン⑥を押さないようにご注意ください。

②りゅうずを右に回して、日付を合わせてください。

※午後9時から午前1時まででは日付を合わせないでください。この時間帯に合わせると、翌日になっても日付が変わらないことがありますので、この時間帯外で日付を合わせてください。

③合わせ終わったら、りゅうずを押し込んでください。

ストップウォッチの使いかた

- ・1/5秒単位、60分計のストップウォッチです。12時間作動後、自動的にストップします。
- ・センターのストップウォッチ秒針と、12時位置のストップウォッチ分針で読み取ります。
- ・スプリット機能があります。

〈ストップウォッチの読みかた〉

2本のストップウォッチ針で計測時間を読み取ります。

ストップウォッチ分針 ストップウォッチ秒針



※このストップウォッチ機能は、分単位と秒（1/5秒）単位しか表示されない60分計ですが、計測自体は最大12時間まで続きます。
60分以上計測したい場合は、スタートの時刻から計測して時間単位を読み取ることは可能です。

〈ストップウォッチ秒針の0位置について〉

- ・ストップウォッチをリセットしても、ストップウォッチ針が0位置に戻らない場合、0位置合わせが必要です。
- ・ストップウォッチ針の0位置合わせは、基本時計の時刻合わせと同時に行ないます。
(⇒「時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ」を参照ください)

●ストップウォッチのリセット方法

- ・ストップウォッチ針が動いている場合、
①ボタン(A)でストップ
②ボタン(B)でリセット
- ・ストップウォッチ針が止まっている場合、以下の3つの場合があります。



【ストップ状態で止まっている】

- ①ボタン(B)でリセット

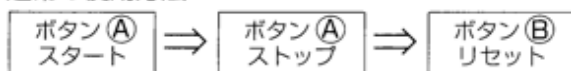
【スプリット表示でストップウォッチが計測中】

- ①ボタン(B)でストップウォッチ針が早送りし、その後計測状態になる。
- ②ボタン(A)でストップ
- ③ボタン(B)でリセット

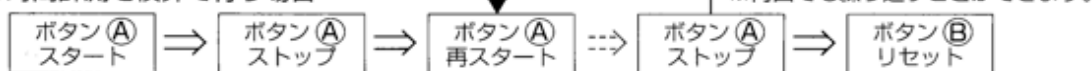
【スプリット表示でストップ状態】

- ①ボタン(B)でストップウォッチ針が早送り、その後止まる。
- ②ボタン(B)でリセット

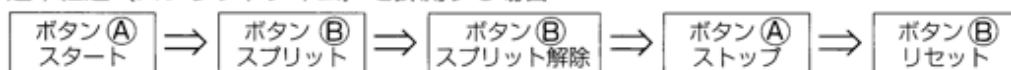
●通常的使用方法



●時間計測を積算で行う場合

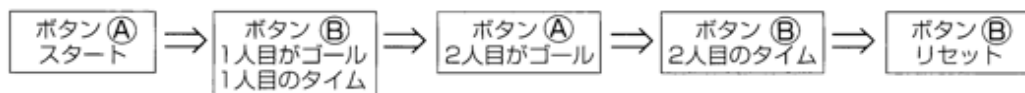


●途中経過（スプリットタイム）を計測する場合



※何回でも繰り返すことができます。

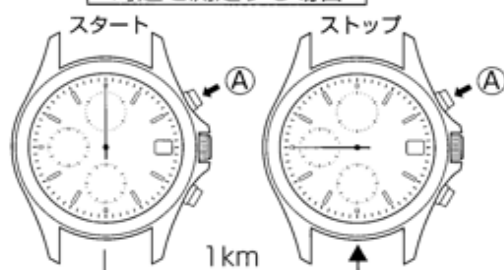
●2人のタイムを計測する場合



=タキメータ（TACHYMETER）がついている場合=

- 単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。

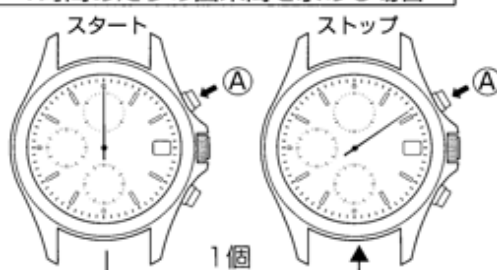
時速を測定する場合



- ①1km走るのに要した時間を計測します。
- ②秒針が指しているタキメータの数字を読み取ります。

80km/時

1時間あたりの出来高を求める場合



- ①製品1個が出来あがるのに要した時間を計測します。
- ②秒針が指しているタキメータの数字を読み取ります。

400個/1時間あたり

■ アラームの使いかた (ワンタイムアラーム)

- ・セットした時刻に1回だけ鳴る、「ワンタイムアラーム機能」です。鳴った後、セットした時刻はキャンセルされます。
- ・約12時間先までの時刻に1分単位でセットができます。



アラーム小時計は、アラームがセットされていない場合は、現在時刻を示し、アラームがセットされている場合はアラーム時刻を示します。

＜アラーム小時計の時刻合わせについて＞
アラーム小時計の時刻合わせは、基本時計の時刻合わせ等と同時に行います。
→「時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ」をお読みください。

● アラーム時刻の合わせかた

- ① りゅうずを1段目まで引き出してください。



りゅうず

—1段目 (アラーム時刻合わせ)

※りゅうず1段目では、ストップウォッチの操作はできませんので、ご注意ください。

アラームがセットしてある場合、アラーム時刻を示したままです。

- ② ボタン(B)を押して、アラーム時刻を合わせます。押し続けると、早く進みます。



※合わせたい時刻を過ぎてしまった場合、さらに進めて合わせてください。
アラーム時刻が現時刻と一致すると、「アラーム設定なし」の状態になります。
そのとき、ボタン(B)を押し続けて現時刻に一致させた場合は、早送りしている針が、一旦止まります。アラーム時刻を合わせる場合は、ボタン(B)を1回離して改めて押して合わせてください。

※アラームが設定できる時刻は、現在の時刻が午前10:08とすると、午後10:07までの時刻になります。

- ③ 合わせ終わったら、りゅうずを押し込んでください。

※りゅうずを押し込んでください。引き出したままでは、アラームは鳴りません。

● 鳴っているアラームを止めるには

アラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続けます。鳴っているアラームを途中で止める場合は、ボタン(A)・(B)のいずれかを押してください。

※ストップウォッチ針が運針中の場合、通常のアラーム音と異なりますが、異常ではありません。また、アラーム鳴鐘中にストップウォッチの操作(ボタン(A)または、ボタン(B))を押しても、鳴り止めとして機能し、ストップウォッチの操作にはなりません。鳴り止め後は、通常の操作ができます。アラームは1回鳴ると自動的に設定がキャンセルされます。

● アラーム時刻の修正またはキャンセルする方法

- ・セットしてあるアラーム時刻を修正したい。
- ・セットしてあるアラームをキャンセルしたい。

- ① りゅうずを1段目まで引き出してください。

- ② ボタン(B)を押して、アラーム時刻の修正ができます。押し続けると早送りします。

- ・キャンセルするには、ボタン(B)を押してアラーム時刻を現時刻の時・分を一致させてください。

また、簡単な方法としてボタン(B)を押し続け早送りさせると、現時刻で早送りが止まるので、そこでボタン(B)を離す方法があります。

- ③ 修正またはキャンセルできたら、りゅうずを押し込んでください。